

# 現代の伝統木工



「衝立」 渡部 伝四郎作



「飾り棚」 大井 義勝作



「六角形台」 渡部 伝四郎作



「姿見」 堀田家具製作所作



「ドレッサー」 富樫 勝作



「酒田光丘彫・酒田方景透彫・飾台」他 菊地 秀雄作



道具



鑿削



土人形 土人形



ひな菓子(小松屋)



下駄(鈴木はきもの店)



絵かき



ろうそく(平野屋ローソク店)



鶴渡川原人形(大石やま作)

## 伝統の美と技

### 第124回 企画展示 酒田の工匠展 -職人の技・美への追求-



「菓子器 末広」 畠中 鳳山作



「炭斗」 畠中 鳳山作

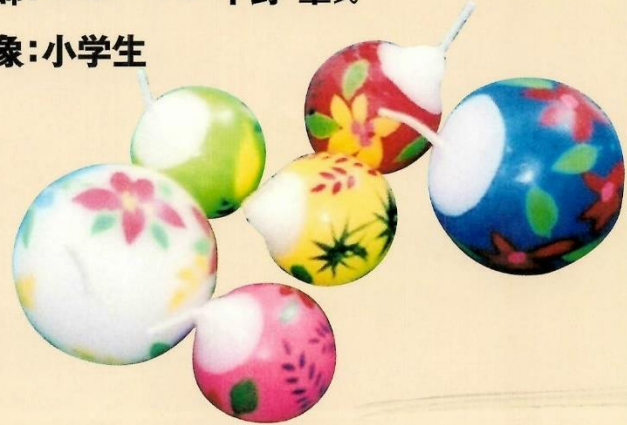
開催期間／  
平成15年2月20日(木)～4月20日(日)  
開館時間／午前9時～午後4時30分  
休館日／12月～3月の月曜日・4月から無休  
(月曜日が休日のときは翌日)  
入館料／大人100円、児童・生徒50円  
(65歳以上の方と身体障害者の方は無料)

### 酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234) 24-6544  
FAX (0234) 24-6544

# ろうそくの絵づけ体験

- 期日:3月8日(土) 13:30~
- 場所:酒田市立資料館
- 講師:平野屋ローソク店 平野 肇氏
- 対象:小学生



## 開催にあたって

かつて、北前船の寄港地として栄えた酒田には、江戸や京都、大阪などからいろいろな人が訪れ、彼等により多くの知識や優れた文化、技術がもたらされました。

そのため、酒田には名工・名匠が多いといわれています。

今回の企画展示では、工匠の作品を展示するだけでなく、製作工程にもスポットをあて、酒田の工芸品のすばらしさがうかがえるようにしております。

ある雑誌に「究極の日用品とは何かを考えてみる。毎日使っても飽きない、使いやすい、そして長持ちする。日本の伝統的的技巧と妥協のない職人魂が生み出した道具こそ、その資格がある」という一文が載っていました。

また、真壁仁氏は「続手職—現代のたくみたち—」の中で「匠といえる人は、もっとも用の目的にかなったものをつくったとき、それが美しいということを知っている人である。」といっています。

今回紹介する匠は、究極の「用と美」を求め続けてきた人、また、現在も求め続けている人たちです。

彼らの「用と美」をあわせ持つすばらしい作品を十分に鑑賞していただければ幸いです。

### 本間 舜華作



乾漆盤「はす」

漆盤「小鳥之朝」

櫻蒔絵盆

### 齋藤 八惣八作

磯草塗  
岩石塗  
竹塗



磯草塗の工程



道具

## 職人の技・美への追求



「桐小棚」高橋 徳五郎作



「本間焼」池田 退輔作



「菓子入れ」

北風 東雲作  
個人蔵



「三ツ重菓子器」  
田畑 久作



「煙草入れ」

鉄砲屋 亀齋作  
本間美術館蔵



「糸巻棚」  
二世 齋藤 如齋作



「懸硯」

佐々木 武志作

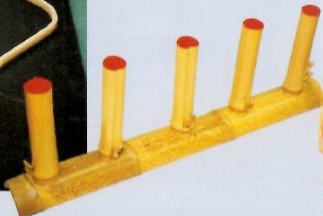
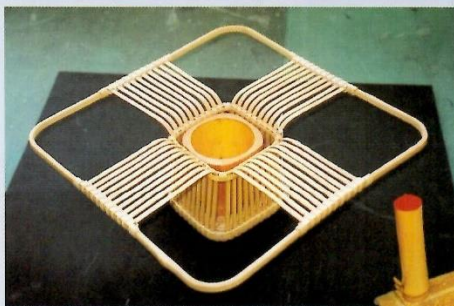


「船筆筒」

伊藤 久内作

## 真竹の美しさ

畠中 鳳山



道具

作業台

